

Press Release

2019年4月2日

フォルシアの第4の事業部門FAURECIA CLARION ELECTRONICS始動 クラリオンの川端 敦取締役社長、フォルシアのエグゼクティブ・コミッティーの一員に

自動車関連技術のリーディングカンパニーであるフォルシアは、(最高経営責任者:Patrick Koller パトリック・コラー、以下、フォルシア)は、第4の事業部門となる“Faurecia Clarion Electronics (フォルシア クラリオン エレクトロニクス) (本部:埼玉県さいたま市、以下、FCE)”を、4月1日に新たに立ち上げたことを発表しました。この新事業部は、コックピット エレクトロニクスと低速 ADAS 分野でのグローバル・リーダーをめざします。

フォルシアは2018年10月26日に、クラリオンの買収計画を発表しました。そして2019年3月28日にクラリオンは、フォルシアの100%子会社となりました。FCEは、クラリオンと、フォルシアが既に傘下とする Parrot Automotive(本社:フランス パリ、パロット・オートモティブ)、Coagent Electronics(本部:中国広東省仏山市、コエージェント・エレクトロニクス)を統合します。1,650名の技術者を含む9,000名の新事業部は、現在の14億ユーロ(約1,750億円)から、2022年までに20億ユーロ(約2,500億円)の売り上げを見込みます。商品カテゴリー、顧客ベース、世界の活動拠点が拡大することで、確実に大きなシナジーが生まれることとなります。

なお、クラリオンの川端敦取締役はFCEのExecutive Vice Presidentに就任し、フォルシアのエグゼクティブ・コミッティーの一員となりました。また、インテリア事業部のFinance Vice PresidentであったJean-Paul Michel(ジャン・ポール・ミッシェル)が、常勤のDeputy Executive Vice Presidentに就任しました。

■フォルシア パトリック・コラーCEOのコメント:

“今回の新事業部の設立は、フォルシアの戦略的変革の重要なマイルストーンです。私は、フォルシア クラリオン エレクトロニクスがコックピット エレクトロニクスと低速 ADAS の領域で、短期間のうちにグローバルプレーヤーとなることを確信しています。フォルシアとクラリオンの技術の結集により、ユーザーに今までにないコックピット・オブ・ザ・フューチャー体験を提供することが可能になることでしょう。川端敦氏をエグゼクティブ・コミッティーへ、そして、クラリオン全従業員をフォルシアン コミュニティへ心より歓迎します。”

■連絡先 フォルシア・ジャパン広報担当
坂井 木綿子
Tel: 080 1003 3839
yuko.sakai@faurecia.com

フォルシア クラリオン エレクトロニクス広報担当
野波 伸壽
Tel: 048 601 3703
nobutoshi.nonami@faurecia.com

■フォルシアについて

フォルシアは 1997 年に誕生し、自動車産業におけるグローバルなメジャープレーヤーとなるまでに成長しました。現在では、世界 37 ヶ国で 35 ヶ所の R&D を含む約 300 の事業所、12 万 2 千人の従業員を有し、自動車用シーティング、インテリア、クラリオン エレクトロニクス、クリーンモビリティの 4 事業をもって世界をリードしています。フォルシアはコックピット・オブ・ザ・フューチャーとサステイナブル・モビリティという成長戦略を元に技術の開発に注力しています。2018 年のグループ全体の売り上げは 175 億ユーロ(約 2.2 兆円)でした。フォルシアはパリ証券取引所に上場し CAC Next 20 index の構成銘柄として選定されています。詳しい情報は、www.faurecia.com をご覧ください。

以上